

循環病態制御外科学分野

A 欧文

A-a

1. Yamaguchi H, Eishi K, Yamachika S, Hisata Y, Tanigawa K, Izumi K, Matsukuma S, Onohara D, Matsumaru I: Mitral valve repair in patients with infective endocarditis. *Circulation* 70 (2): 179-183, 2006 (IF: 1.998)
2. Tamaru N, Abe K, Anami M, Matsumaru I, Yamaguchi H, Eishi K, Hayashi T: A papillary fibroelastoma on a papillary muscle of the left ventricle. *Pathology* 38 (2): 174-177, 2006 (IF: 1.471)
3. Takai, H, Kobayashi J, Tagusari O, Bando K, Niwaya K, Nakajima H, Yagihara T, Kitamura S: Off-pump coronary artery bypass grafting for acute myocardial infarction. *Circulation* 70 (10): 1303-1306, 2006 (IF: 1.998)
4. Ariyoshi T, Eishi K, Sakamoto I, Matsukuma S, Odate T: Effect of etidronic acid on arterial calcification in dialysis patients. *Clin Drug Invest* 26 (4): 215-222, 2006 (IF: 0.707)

B 邦文

B-a

1. 江石清行：変性および感染性心内膜炎による僧帽弁逆流症の手術．循環制御 27 (1): 28-31, 2006
2. 山近史郎：非虚血性MRの診断．循環制御 27(1): 22-27, 2006
3. 高井秀明, 江石清行：改良型低侵襲経皮的心肺補助装置を用いた完全心停止下CABG．胸部外科 59(8): 625-630, 2006
4. 松丸一朗, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 多田誠一, 山根健太郎, 泉賢太, 高井秀明, 谷川和好, 小野原大介, 長井一浩, 上平憲, 宮崎泰司, 福島卓也, 朝長万左男：自家骨髄単核球細胞移植を施行したBuerger病の2例 - 当院に於ける再建不可能な虚血下肢への血管新生療法(再生医療)導入への試み - ．長崎医学会雑誌 81(3): 111-114, 2006

B-b

1. 江石清行：ホモグラフトを用いた3回目基部再建術(私のOP録)．*Cardiovascular Med-surg* 8 (1): 91-92, 2006
2. 川名正敏, 百村伸一, 江石清行, 大滝英二：【特集「心臓弁膜症 知っておきたい最善の診断と治療」】変貌する心臓弁膜症．*内科* 97 (3): 517-529, 2006
3. 山口博一郎, 江石清行, 山近史郎, 多田誠一, 山根健太郎, 泉賢太, 高井秀明, 谷川和好, 小野原大介, 松丸一朗, 松隈誠司, 濱脇正好, 山口敬史：活動期僧帽弁位感染性心内膜炎の外科治療成績．*日本胸部外科学会雑誌* 54 (Suppl): 461, 2006
4. 山口博一郎, 江石清行, 山近史郎, 多田誠一, 山根健太郎, 泉賢太, 高井秀明, 谷川和好, 小野原大介, 松丸一朗：狭小リングを用いた僧帽弁輪形成術の早期・中期遠隔成績．*日本胸部外科学会雑誌* 54 (Suppl): 370, 2006
5. 多田誠一, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 山根健太郎, 泉賢太, 高井秀明, 中路俊, 松丸一朗：二尖弁による大動脈弁閉鎖不全症に対する大動脈弁形成術．*日本胸部外科学会雑誌* 54 (Suppl): 494, 2006
6. 谷川和好, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 多田誠一, 泉賢太, 高井秀明, 中路俊, 松丸一朗：狭小大動脈弁輪症例における生体弁CEP19mm弁とMOSAIC19mm弁の短期中期成績の比較検討．*日本胸部外科学会雑誌* 54 (Suppl): 414, 2006
7. 多田誠一, 江石清行, 山田卓史, 築取誠：SLEに伴う腹部大動脈瘤手術における中枢側吻合法の工夫 - proximal exclusion法 - ．*日本血管外科学会雑誌* 15 (2): 285, 2006
8. 谷川和好, 江石清行, 坂本一郎, 山近史郎, 山口博一郎, 多田誠一, 山根健太郎, 泉賢太, 小野原大介, 松丸一朗：血管Behcet病が疑われた膝窩動脈瘤に対してステント留置術を施行した一例．*日本血管外科学会雑誌* 15 (2): 294, 2006
9. 小野原大介, 山口博一郎, 江石清行, 山近史郎, 久田洋一, 谷川和好, 高井秀明, 泉賢太, 松丸一朗, 小野原大介：Total arterial graftによるCABGの検討．*日本血管外科学会雑誌* 15 (2): 314, 2006
10. 泉賢太, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 山根健太郎, 久田洋一, 谷川和好, 高井秀明, 小野原大介, 松丸一朗：肝硬変を合併した開心術症例の手術成績．*日本心臓血管外科学会雑誌* 35 (Suppl): 187, 2006
11. 山根健太郎, 江石清行, 山口博一郎, 山近史郎, 久田洋一, 泉賢太, 谷川和好, 高井秀明, 小野原大介, 松丸一朗：in situを標準としている施設におけるコンポジットグラフトの早期開存率．*日本心臓血管外科学会雑誌* 35 (Suppl): 165, 2006
12. 松丸一朗, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 谷川和好, 泉賢太, 高井秀明, 小野原大介：高度僧帽弁逆流を伴う末期心筋症に対する僧帽弁形成術の治療成績．*日本心臓血管外科学会雑誌* 35 (Suppl): 275, 2006
13. 西活央, 江石清行, 柴田義貞, 川副浩平, 種本和雄, 金子達夫, 天野純, 山口裕己, 高原善治：人工機械弁の

- 開閉音が患者の QOL へ及ぼす影響について～7 施設合同研究～．日本心臓血管外科学会雑誌 35 (Suppl): 205, 2006
14. 橋本 亘, 山田卓史, 築取 誠：都市部中核病院としての心臓血管外科の役割．日本心臓血管外科学会雑誌 35 (Suppl): 112, 2006
 15. 築取 誠, 橋本 亘, 山田卓史, 大平高正, 山野 薫：開心術前後における呼吸機能の経時的変化と周術期理学療法の効果．日本心臓血管外科学会雑誌 35 (Suppl): 287, 2006

B-c

1. 山近史郎：心房中隔欠損症に合併した僧帽弁逆流の特徴．（中谷 敏, 別府慎太郎(編)：新・心臓病診療プラクティス 心エコー図で診る, 文光堂, 東京, pp.88-89 所収) 2006
2. 山近史郎：断層法の原理と技術．（野村 実, 山田達也, 小出康弘(編)：周術期経食道心エコー実践法, 真興交易医書出版部, pp.18-40 所収) 2006
3. 山近史郎：僧帽弁形成術．（野村 実, 山田達也, 小出康弘(編)：周術期経食道心エコー実践法, 真興交易医書出版部, pp.198-218 所収) 2006
4. 山口博一郎, 江石清行, 山近史郎, 多田誠一, 山根健太郎, 高井秀明, 谷川和好, 泉 賢太, 小野原大介, 松丸一朗：冠動脈バイパス術と胸部大動脈瘤同時手術症例の検討．第 11 回日本冠動脈外科学会講演抄録集, p.107, 2006
5. 久富一輝, 松隈誠司, 山口敬史, 濱脇正好：術前 CK 異常高値を認めた急性大動脈解離の 1 例．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.22, 2006
6. 谷川和好, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 多田誠一, 山根健太郎, 泉 賢太, 高井秀明, 小野原大介, 松丸一朗：モザイク生体弁を用いた AVR の効果．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.23, 2006
7. 濱脇正好, 山口敬史, 松隈誠司, 久富一輝；ターナー症候群を合併した大動脈縮窄症の手術経験．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.31, 2006
8. 橋本 亘, 山田卓史, 松丸一朗：術後 LOS に対するアデールとミルリーラの合併経験．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.34, 2006
9. 沖山光則, 當山真人, 嘉陽信子, 江石清行：Libman-Sacks 型心内膜炎に対する自己弁温存手術．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.39, 2006
10. 高井秀明, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 多田誠一, 山根健太郎, 谷川和好, 泉 賢太, 松丸一朗, 小野原大介：自動吻合器 PASport の使用成績．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.53, 2006
11. 尾立朋大, 迫 史朗, 有吉毅子男：巨大冠動脈を伴った冠動脈肺動脈瘻の 1 手術例．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.52, 2006
12. 泉 賢太, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 多田誠一, 山根健太郎, 谷川和好, 高井秀明：薬剤抵抗性二次性心室頻拍に心筋切除術が著効した一例．第 39 回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集, p.55, 2006

B-d

1. 江石清行：弁形成術の Pitfall - 根治性の高い僧帽弁形成術を行うために - 胸部外科および境界疾患の最新治療 - risk management に配慮して - ．日本胸部外科学会卒後教育委員会 2005, pp.128-134
2. 多田誠一, 久田洋一：深部静脈血栓症との鑑別を要した特発性腓腹筋内血腫の 1 例．長崎市立病院成人病センター年報 8: 52-54, 2006

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	0	4	28

社会活動

氏名	委員会等名	関係機関名
江石清行	長崎県救急医療対策部会	長崎県
江石清行	長崎県特定疾患対策協議会委員	長崎県
江石清行	評議員	日本循環器学会
江石清行	評議員	日本冠動脈外科学会
江石清行	評議員	国際心臓胸部外科学会日本支部
山近史郎	評議員	日本超音波医学会
山近史郎	評議員	日本心臓血管麻酔学会
山近史郎	周術期経食道心エコー認定試験問題作成委員	日本心臓血管麻酔学会
山近史郎	九州地方会運営委員	日本超音波医学会

外部資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	外部資金提供元	代表・分担	研究題目
江石清行・教授	センチュリーメディカル株式会社	代表	ATS 人工弁の開閉音が日常に与える影響に関するアンケート調査 - 他機械弁との比較 -

その他

非常勤講師等

氏名・職	職・担当科目等	関係機関名
江石清行	非常勤講師(循環器外科学)	東京女子医科大学
江石清行	非常勤講師(臨床病態学)	長崎県立シーボルト大学
江石清行	非常勤講師(心臓血管外科学)	大分大学